

# 駅南幹線の美化活動

## 今年度も8回予定

5月28日朝6時から7時まで、栗田町内会、同環境美化推進委員会で構成する



気持ちよくご利用を  
ふれあい会館一斉清掃

栗田町内会は5月28日、栗田ふれあい会館の春の一斉清掃を実施しました。町内会理事や事務局、栗田公民館関係者ら30人が参加しました。春と秋、年二回実施する

栗田駅南幹線愛護会のメンバー30人が同幹線の草取りを実施しました。写真。育成会の協力も受け、4月から10月まで計8回の活動を予定しています。

栗田駅南幹線は、栗田日吉神社北信号（板倉内科・糖尿病クリニック前）と七瀬郵便局前信号間および栗田日吉神社北信号と栗田西信号間の道路です。

一斉清掃は、町内住民の皆さんに同会館を気持ちよく利用していただくことを目的としており、同日は同会館の内外、子供たちが触れる玩具などを2時間ほどかけていねいに手入れをしました。ご参加いただいた関係者の皆さん、ご苦労さまでした。

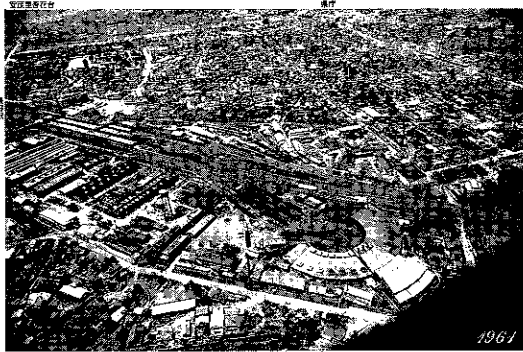
### 栗田の風景⑦

## 旧国鉄長野工場跡

（現JR長野駅東口タクシープールほか）

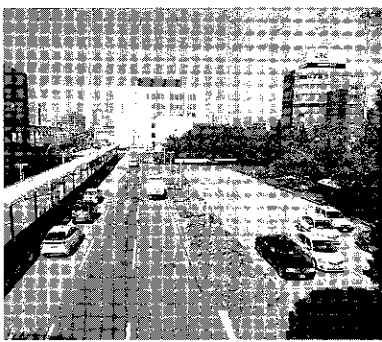
左の下の写真はJR長野駅東口のペDESTリアンデッキからバス発着場やタクシープール・乗り場を見下ろした風景です。私たちには見慣れた風景ですね。

でも、今回取り上げるのは、かつてこの場所にあった旧国鉄長野工場です。写真（上）。同工場の敷地は、



西は現在の新幹線線路およびプラットフォーム、北はシャトレーゼホテル（旧ホテル長野メルパルク）一帯にまで及んでいました。

同工場は旧国鉄の三大工場の一つとして、D51など蒸気機関車やディーゼル機関車を製造・修理していただけでなく、同工場のオリ



④1961（昭和36）年の旧国鉄長野工場（写真手前部分）【中澤啓一朗氏提供】  
⑦現在の東口タクシープールと乗り場、バス発着場

ジナル部品を他工場に供給するなど、全国の国鉄工場の中でも中心的な役割を担ってきました。

その技術レベルは高く、旧長野県立工業学校（現長野県長野工業高校）などの設立にも影響力を持ったと考えられます。

しかし、同工場は太平洋戦争終戦直前に米軍による空襲を受けています。1945（昭和20）年8月13日、米空母艦載機の編隊が長野地域と上田地域を襲いました。

この空襲は全国の交通インフラ破壊を目的としたもので、当時の長野市では長野駅と、機関区を中心に同工場も被害を受けました。この空襲では、現長野市域全体で46人の死者を出しています。

現在の平和な光景には考えられない不幸の歴史もあつたのです。